

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		入間市元気キッズ		公表日 令和8年3月31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・日によっては適切だが、人数が多い日や不安定な児がいる時は、他の部屋あると良いと感じる。	・基準を順守しつつ場所や環境を工夫を図っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・8：3は児の特性等から難しいが、今年度はヘルプを入れてもらえたので良かった。 ・職員の欠員がある場合、補充してほしい。 ・児の状態で足りないと感じることもあるが、ヘルプで補っている。 ・児の様子により、人員数を調整している。 ・欠員（全体）がいることもそうだが、児8大人3では安全管理が伴わない場がある。 ・人手不足と感じる。	・児童発達支援センターの基準（児童4人：職員1名）を確保しつつ、お子さんの状態によってはヘルプ配置により安全確保を図るなど、現場での柔軟な対応を継続していく。 また、適正な配置数について職員が共通認識を持ち、改善点を共有していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・自傷のある児もいるため、壁にクッション性のあるものが必要と考える。	・必要性に応じて柔軟に環境整備を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・毎日の掃除、消毒を行っている。	・感染症対策も含め、引き続き安全で清潔な環境を維持するように努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・パーテーション等を利用しながら、個別の場所を確保している。 ・パーテーションを使用しながら、安全安心できる環境作りが行われている。 ・廊下で過ごす等の対応をしている。	・必要に応じパーテーション等を利用し環境設定には努めていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・時間が取れないこともある。	・効率的に業務を進め、職員全体がPDCAサイクルに参画できるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		・評価を毎年実施し、結果を公表することで、業務の改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・常に忙しいため、時間をつくるのが難しい。	意見収集の方法や時間帯の見直し、簡便な共有手段の導入など、業務改善に向けた取り組んでいきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8	・全社協等の外部第三者評価は受けていないが、監査実地指導や外部講師の助言を参考に適宜業務改善を行っている。 ・分からない。 ・実施していない。	・第三者評価の実施については今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・長期休みに社内研修・ビデオフィードバックを行い助言を得ている。 ・長期休み期間を利用し、普段より、より細かくスキルアップのための研修が行われている。	・引き続き定期的な研修を実施し、職員全体の資質向上に努めます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・ホームページで公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・アセスメントチェック表を利用している。担任・児発管で支援検討会議を行っている。	・引き続きアセスメントや課題分析の研修や指導に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・共通理解弱いと感じる。	・計画内容の共有の仕方や検討の場の持ち方を見直し、こどもの最善の利益を共通の視点で検討できる体制づくりに取り組んでいきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・キッズスケール、ESDMチェックシートを使用し確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・児の発達や状態に合わせて、改善や計画が行われている。	・引き続きクラスの状況やお子さんの状況に応じて計画していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・個別のため分担する機会は少ないが、動きの確認をし、連携して支援が行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・時間が足りない。 ・時間が足りない場合が多い。	・引き続き打ち合わせの時間を確保するよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		・引き続き支援の改善につなげる記録作成に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	3		・参加要請に応じて出席しています。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・元気キッズから行くことはないが、併用先がある児童は併用先で機会を得ている。 ・併用先にて、地域のこどもと活動をしている。 ・併用先のない場合、他児と活動する機会は少ないと思う。元気キッズ内で他児と交流を設けることは、感染面からも難しいと思われる。	・お子さんの発達状況や感染症等、総合的に判断を行い検討を行っています。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時に家庭と情報共有を行っている。 ・療育後に必ずフォードバックが行われている、記録として残し保護者に伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・年2回の保護者交流会を実施し、保護者同士の交流する機会を設けている。 ・児発管をはじめ、職員間で共有しながら支援が行われている。時間に限りがあるため、時間確保が難しい。	・保護者からの相談には随時対応し、必要に応じ専門職（心理・PT・OT・ST）の助言も求めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	・活動概要は降園時ホワイトボードに提示、ほけんだよりを定期的に発行している。	・引き続き取り組んで参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・ふせ字を徹底している。 ・児の氏名、ふせ字を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	・今後検討していく。	・高い専門性の観点から、地域住民を招待する等の事業は行っていません。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		・職員間での共通認識のもと、特性に配慮した訓練を実施します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・BCP訓練2回実施している。 ・災害を想定した訓練では、避難場所・経路を変える等、様々な対応が出来るように工夫されている。	・設置基準の規定に基づき、月1回程度の訓練を予定しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・看護師を中心に確認が行われている。必要に応じて、療育中に看護師が見守りに入っている。	・引き続き看護師を中心に適切な対応に努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	・お弁当おやつ持参時には、他児のものを食べないように注意している。	・必要に応じて対応を検討します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・朝礼、終礼時の周知、報告書の記載が徹底されている。	・些細なヒヤリハットについても記録し職員間で共有しています。。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		